

新しい地区会の形 “居場所” 作り始まる

入曽、水野地区の第1回交流会

「そこへ行けば仲間がいる。そんな居場所が欲しいのです」。こんな言葉が話しているうちに出てきました。3月16日（木）、入曽地域交流センターに15人のさやま楽友会の仲間が集まりました。第1回入曽地区会交流会の案内に応じてくださった方たちです。10時に始まり、まずは自己紹介。テーマは「いまワクワクしていること」。ノルディックウォーク、歴史散歩などなど、皆さんそれぞれに“毎日のワクワク”を話してくださいました。その話をしているときの表情がなんとも素敵です！主催者として「皆で一緒に何かしませんか」と提案をしてみました。が、「そうではない。こうしてみんなが集まり、学んだことや、いま楽しんでいることを出し合って共有するのが嬉しい」。「そう！皆さんの情報が楽しいです。きょうは参加してとても良かった。毎月開催してください」……。

ということで、入曽地区会は、**毎週木曜日の10時から12時、地域交流センター**で開催しています。行けば誰か仲間がいて、コーヒーでも飲みながら蘊蓄を傾けたり、“ワクワク”をぶつけあったりする『居場所』になりました。

入曽、水野地区にお住いの皆様、どうぞお気軽に自慢話をしに来てください。



理事会報告

第50回理事会 2023年3月20日

今回の理事会では、地区活動の報告と総会に向けての体制づくりが主な議題になりました。3月26日に予定されていた堀兼・新狭山・奥富地区と柏原地区合同の「智光山でのBBQ大会」は残念ながら雨天延期となりましたが、上記のように入曽地区会の活動も始まり、全地区で地区会が動き始めました。入曽地区の継続的な交流の場は地区会活動の新しい形です。地区に合わせていろいろな形が考えられるのは素晴らしいことだと思います。

また、第10回総会は第1部総会、第2部交流会の予定で、6月20日（日）に行われます。今年は理事総出で準備にあたります。全理事が交流会余興の企画立案、飲食等の準備、会場設営、司会進行に分かれて準備を進めていきます。理事の総力を挙げての交流会。楽しみにお待ちください。

ホームページの進捗状況も報告されました。一番の悩みは、「楽友会」で検索してもヒットしないこと。世の中にはたくさんの楽友会があるようで、合唱団からOB会、中には老人ホームもあるとか……。一般の人の検索でさやま学友会ホームページがヒットするようになるためには、たくさんのアクセスが必要です。是非「さやま楽友会ホームページ」で検索して、アクセス数をあげることに協力ください。



予定に入れておいて下さい！

今年の総会は6月20日（火）

● 長兄の 自分史 ●

長兄が昨年夏84歳で逝った。コロナ禍前に誤嚥性肺炎で入院したまま、病院を代わりはしたが回復すること無く、寝たまま逝った。面会が肉親でも出来なく、逝く前の7月初めに息子と一緒に会えたのが最初で最後だった。15分間だったが、声掛けしたら反応があって目が開き、身体の動きが出てきた事が最後の会話だった。

告別式は息子夫婦だけ。四十九日法要は親族から声あがるも、息子夫婦と私だけの見送りで。長年商売を続けてきた長兄はなにかと朗らかで賑やかな事が好きだったが、寂しいお別れであった。この3年間、亡くなられた方々の最後はみな似たりよったりと葬儀社の方が語られていた。近くの古寺の和尚さんに送ってもらえたのが唯一の救いであった。

葬儀を終わって、「長兄が『自分史』を書いていたが、未完成なので私に纏めてもらえないか？」と言われて、息子が原稿と写真を預かって帰って来た。A4両面刷り40枚、圧巻である。認知症もあったのか、繰り返し出てくる場面も多く内容にメリハリがなかったが、ほぼ理解できた。

末っ子の私が生まれて間もなく父が亡くなった為、私だけは母姉兄たちと暮らす事は無かったので、長兄の自分史から得られる事が多かった。若い頃から調べていたようで、例えば父方のルーツは会津藩の武士だった(?) こととか、母と父と一緒に暮らしていても長女が誕生して初めて入籍された(悪しき慣習・足入れ) こととかが記載されていた。他にも、昭和13年、会津塗りの問屋に見切りをつけ、財産を処分して東京・板橋に引っ越し会社員になったこと、昭和19年3月、空襲が激しくなったので父を残して母の実家に疎開するのだが、私は母のお腹の中だったこととかもあった。終戦日の8月15日の母の実家の描写や、空襲で焼け出され残った鉄瓶1個を持ち帰った父の話、長姉の病死に次ぐ父の病死……等々、この歳になって初めて知る事が多かった。

コロナ禍の自粛生活に慣れてしまった中で、絆を揺るがす事に直面した。続いて田舎からも訃報が届き、長兄のお墓の問題も発生。今年のお盆までには完成版を仏前に供えたい。コロナ禍でなかなか帰れなかった田舎。今年はどうしても父母や縁者の墓前に立っていろいろ報告する様だ。



福寿草 写真展

※ 2月地区会・福寿草鑑賞会
の応募作品です。



江藤誠治さん



吉久裕子さん



匿名希望さん



福田正さん



黒川昭さん